

相模湾から採集された腕足類

池田 等・倉持 卓司

Hitoshi Ikeda and Takashi Kuramochi :
Brachiopods Collected from Sagami Bay

Summary: Twenty-six species of six families of brachiopods (including six unknown species) were collected (except *Lingula anatina*) by gill-nets and trawl-nets from Sagami Bay and its adjacent waters during 1963-1996. This record corresponds to 38% of the total species of Japanese recent Brachiopoda. The collections as the result of our examinations are shown in a list.

はじめに

腕足類は先カンブリア紀以降に出現し、地質時代に繁栄した動物群であり、化石種は世界で1200種を超えるが、現生種はおよそ350種が報告されているにすぎない(馬渡, 1992)。日本周辺海域に生息する腕足類は潮間帯から水深1100mまでに広く分布し、55種2亜種が報告されている(Hatai, 1936a)。

相模湾近隣海域からは、房総半島周辺海域からの報告(Hatai, 1936b)および、蒼鷹丸による相模灘伊豆半島周辺の報告(Hatai, 1940)があるが、これまでに相模湾を中心とした腕足類の総合的な報告はない。筆者らは長年相模湾および周辺海域における腕足類の分布調査を行い、多数の資料が得られたので報告する。

なお、本報告を作成するにあたり、文献の提供をいただいた横須賀市自然博物館の蟹江康光氏、情報を提供していただいた相模貝類同好会の桜井昇氏、貴重なご助言をいただいた鳥羽水族館の故大山桂氏、ならびに多数の資料提供および調査にご協力いただいた三浦半島周辺の漁業関係者の方々に感謝する。

調査方法

真鶴半島から三浦半島の城ヶ島を経て浦賀水道までの海域(図1)から、池田により1963年から1996年までの期間に採集された資料と、1990年から1996年までの倉持による三浦半島周辺から得られた標本をもとに同定を行い目録を作成した。採集標本の全ては、漁業者が相模湾およびその周辺で行っている底刺網や、かつて操業されていた手繰網などより得たものである。

結果および考察

本調査において、相模湾周辺海域より採集された腕足類は6科11属24種に及んだ。この種数は日本周辺海域に生息する現生腕足類の38%にのぼり、このことから相模湾の腕足類相は、豊富と言える。また、Hatai(1940)に従えば、今回の採集品の63%は日本の南部に分布域をもつものである。

Hatai(1936b)による、外房沖の大陸棚周辺より報告された15種と今回記録された共通の種は、6種(18%)のみであり、近隣海域でこのような結果が出たことは、腕足類の分布が海底地形に大きく影響するものと考えられる。

また、現生腕足類の大半は分布域が限られている種が多く、腕足類相を知るためには、長期に渡る継続調査が必要であり、今後も本調査を続ける方針である。また、今回、種同定に至らなかった種類も多数あり、これらについては稿を改めて報告する。

特筆すべき種

ミドリシャミセンガイ

Lingula anatina (Lamarck, 1801)

1970年代まで陸奥湾以南のかなり広い範囲に渡り分布していたと考えられるが、現在は陸奥湾、

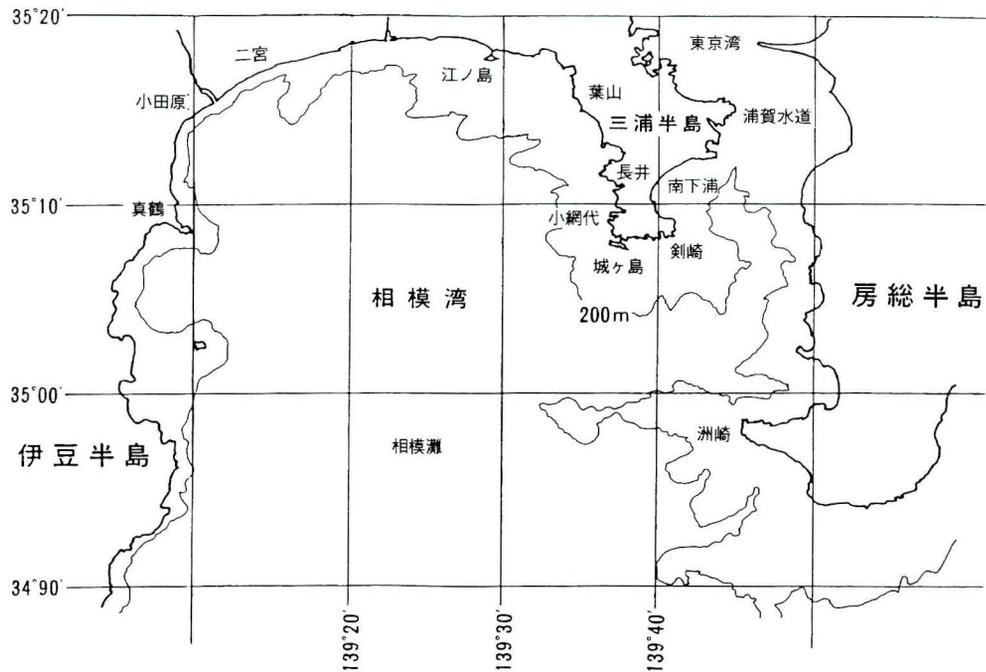


図1 相模湾及び周辺海域

女川湾，瀬戸内海，有明海，奄美大島(倉持, 1996)に局地的に分布するのみである。相模湾では，古くは江の島におけるモースの採集記録および，谷津直秀による三浦市小網代より採集した個体による初期発生報告(磯野, 1988)があり，池田により三崎周辺で1967年ごろまで確認されているが，近年生息に関する報告例はなく，絶滅したものと考えられる。

トゲクチバシチョウチンガイ

Tegulorhynchia döderleini (Davidson, 1886)

相模湾が模式産地となっているが，おそらく原記載以後，相模湾からは初めての記録と思われる。本種は相模湾から九州，東シナ海，ボルネオに分布している(Hatai, 1936c)。

タテスジホウズキチョウチンガイ

Coptothyris grayi (Davidson, 1852)

三浦半島に分布する宮田層下部(0.3Ma)から多産するが，今回，生殻の採集記録はなく，水深200-220mより化石と思われる個体が採集された。本種は北海道から九州までの日本海側。および，房総半島以北の太平洋側に分布する。なお，カメホウズキチョウチン *Terebratalia coreanica* (A. Adams & Reeve, 1850)は，更新統宮田層下部からは多産するが，今回の調査では確認され

なかった。

相模湾産腕足類目録

凡例：分類体系および，学名は，Hatai(1940)に従った。HSM-Brと示しているものは，葉山しおさい博物館に腕足類資料として保管されている。

Class Brachipoda 腕足綱

Subclass Inarticulata 無関節亜綱

Order Lingulda 舌殻目

Family Lingulidae シャミセンガイ科

1. *Lingula anatina* Lamarck, 1801

ミドリシャミセンガイ

産地：小網代 水深0-5m V-1965. (確認のみ)

Order Acrotreide 頂殻目

Family Discinidae 盤殻科

2. *Discinisca stella* (Gould, 1926)

スズメガイダマシ

採集地：葉山沖 水深15m X-1996.

HSM-Br-9608

3. *Discinisca sparselineata* Dall, 1920

スゲガサチョウチン(和名新称)

模式産地：東京湾

採集地：葉山沖 水深15m X-1996.

HSM-Br-9607

4. *Discinisca* sp.
採集地：葉山沖 水深200-300m III-1990
Family Craniidae 頭殻科
5. *Craniscus japonicus* (A. Adams, 1863)
イカリチヨウチン
採集地：葉山沖 水深80-120m III-1963.

Class Articulata 有関節亜綱

Order Rhynchonellida

Family Hemithyrididae

クチバシチヨウチンガイ科

6. *Tegulorhynchia döderleini* (Davidson, 1886)
トゲクチバシチヨウチンガイ
模式産地：相模湾
採集地：葉山沖 水深300m I-1971.

Order Terebratulida 穿殻目

Suborder Terebratulidna 穿殻亜目

Family Terebratulidae テレブラツラ科

7. *Gryphus stearnsi* (Dall & Pilsbry, 1891)
シロホウズキチヨウチンガイ
採集地：葉山沖 水深150-160m III-1981.
8. *Terebratulina japonica* (Sowerby, 1846)
タテスジチヨウチンガイ
採集地：葉山沖 水深250-300m IV-1970.
HSM-Br-9604
9. *Terebratulina crossei* Davidson, 1882
クロスチヨウチンガイ
模式産地：相模湾
採集地：葉山沖 水深250-300m X-1977.
浦賀水道 水深150-100m IV-1955.
HSM-Br-9505
10. *Terebratulina kiiensis* Dall & Pilsbry, 1891
キイチヨウチンガイ(和名新称)
採集地：葉山沖 水深300m III-1979.
11. *Terebratulina peculiaris* Hatai, 1940
採集地：江ノ島沖 水深250-280m III-1979.
備考：蒼鷹丸による相模湾からの記録がある
(Hatai, 1940)。
12. *Terebratulina hataiana* Cooper, 1973
ハタイチヨウチンガイ(和名新称)
採集地：剣崎沖 水深100-120m III-1970.
13. *Terebratulina*(*Surugathris*) *surugaensis*
Yabe & Hatai, 1934 スルガチヨウチンガイ
(和名新称)

- 採集地：江ノ島沖 水深280-300m III-1980.
14. *Terebratulina* sp.
採集地：小田原沖 水深200-300m V-1979.
15. *Terebratulina* sp.
採集地：葉山沖 水深300-400m IV-1982.
16. *Terebratulina* sp.
採集地：城ヶ島沖 水深700-750m IV-1978.

Suborder Terebratelidna 貫殻亜目

Family Dallinidae ダリナ科

17. *Dallina raphaelis* (Dall, 1870)
マルグチホウズキチヨウチンガイ
採集地：葉山沖 水深150-160m III-1978.
18. *Terebratalia gouldii* (Dall, 1891)
グルウドチヨウチンガイ
採集地：城ヶ島沖 水深250-350m V-1979.
備考：蒼鷹丸による相模湾からの記録がある
(Hatai, 1940)。
19. *Coptothyris grayi* (Davidson, 1852)
タテスジホウズキチヨウチンガイ
採集地：葉山沖 水深200-220m IV-1978.
備考：採集個体は半化石のみであった。

Family Laqueidae ラクエス科

20. *Laqueus rubellus* (Sowerby, 1846)
ホウズキチヨウチンガイ
採集地：長井沖 水深80-100m III-1963.
HSM-Br-6601
備考：蒼鷹丸による相模湾からの報告がある
(Hatai, 1940)。
21. *Laqueus cf. quadrtus* Yabe & Hatai, 1934
採集地：剣崎沖 水深650-700m II-1978.
22. *Laqueus blanforrdi* (Dunker, 1882)
ブラウンフォルドチヨウチンガイ
採集地：葉山沖 水深250-270m III-1965.
浦賀水道 水深150-200m III-1994.
HSM-Br-9502
備考：蒼鷹丸による相模湾からの報告がある
(Hatai, 1940)。
23. *Laqueus* sp.
採集地：浦賀水道 水深200-250m X-1980.
24. *Laqueus* sp.
採集地：剣崎沖 水深650-700m II-1978.
25. *Laqueus* sp.
採集地：真鶴沖 水深250-300m IV-1978.
葉山沖 水深300m V-1980.

26. *Pictothyris picta* (Dillwyn, 1817) コカ
メガイ

採集地：葉山沖 水深80-100m IV-1963.
HSM-Br-6603

城ヶ島沖 水深50-80m I-1970.

備考：殻の色彩模様は変異が多い。

参考文献

- Cooper, G. A. 1973. Fossil and recent Cancellothyridacea (Brachiopoda). *Tohoku Univ., Sci. Rep., ser.2, (geol.), spec. vol., (Hatai Memorial Vol.), (6), 371-390.*
- Hatai, K. 1936a. The geographic distribution of Brachiopoda, Part 1. Recent Brachiopoda of Japan. *Bull. biogeogr. Soc. Jap., 6(8): 63-70.*
- Hatai, K. 1936b. A list of the recent Brachiopoda dredged from the littoral sea of Pacificside of Boso Peninsula, central Japan. *Rec. Ocean. Wk. Jap., 8(1): 1-17.*
- Hatai, K. 1936c. A note on a Brachiopoda,

Tegulorhychia dodeleini (Davidson).
Venus, 6(2): 96-104.

Hatai, K. 1940. The cenozoic Brachiopoda of Japan. *Sci. Rep. Tohoku Imp. Univ., 2nd ser. (Geol.), 20: 1-414, pls.I-VII.*

Horikoshi, M., 1982. Preliminary compilation of results obtained by the "Survey of continental shelf bordering Japan" carried out on board the S/S Soyo-Maru during 1923-1930. *Oce. Res. Inst. Univ. Toyko, 68-82.*

磯野直秀, 1988. 三崎臨海実験所を去来した人たち 日本における生物学の誕生. 230pp. 学会出版センター. 東京.

倉持卓司, 1996. 奄美大島産ミドリシャミセンガイについて. *南紀生物, 38(2): 141-142.*

馬渡峻輔, 1992. 原色検索日本海岸動物図鑑, Vol.I: 220-226. 保育社. 大阪

(池田：葉山しおさい博物館, 倉持：相模湾海洋生物研究会)

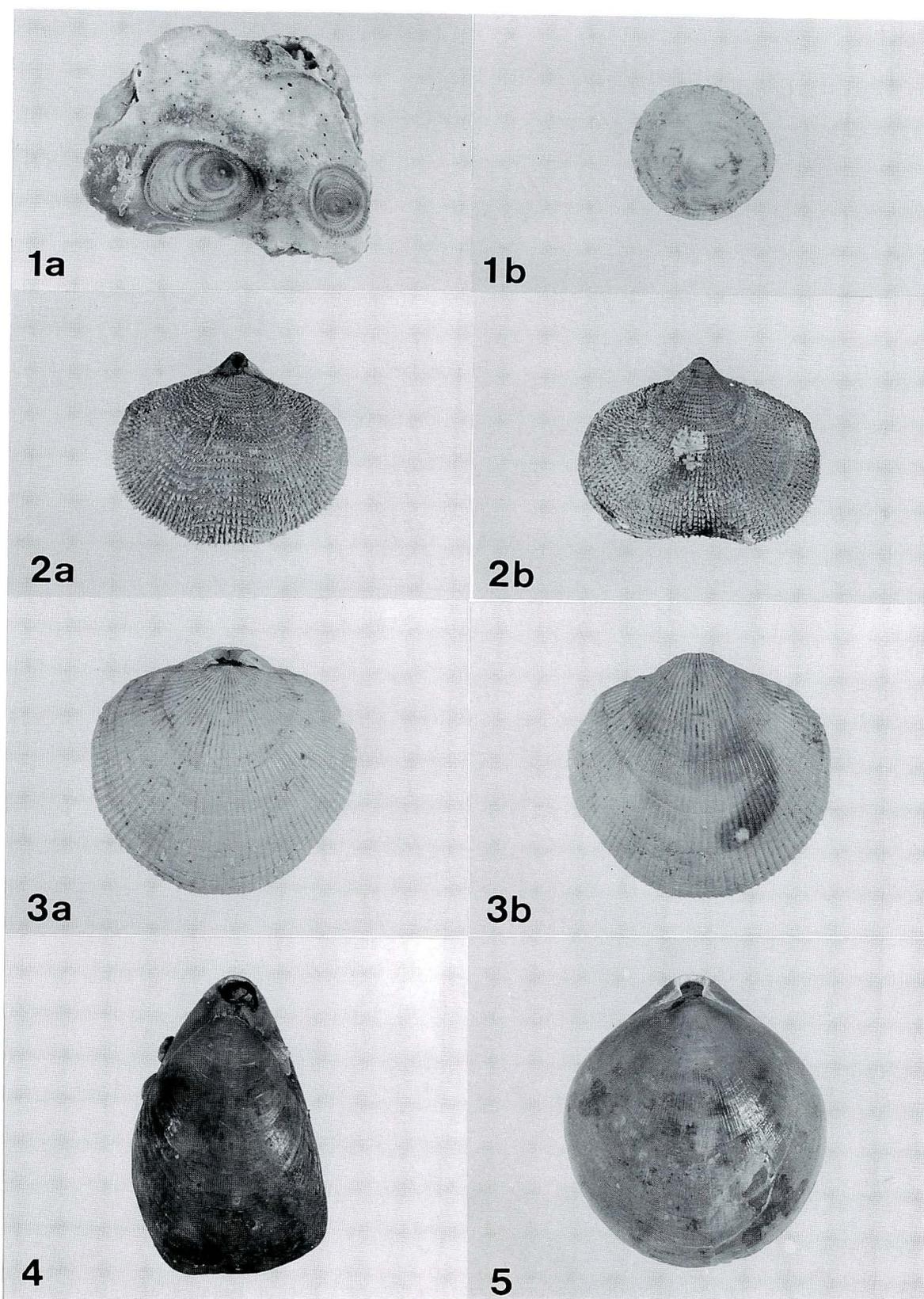


図2. 1a. 1b. スズメガイダマシ *Discinisca stella* (Gould, 1926) ; 葉山沖産 [殻径8.2mm]
 (1a. ベッコウガキ *Pycnodonte musashiana* に付着した状態 ×2)
 2a. 2b. トゲクチバシチヨウチンガイ *Tegulorhynchia dodderleini* (Davidson, 1886) ; 葉山沖産 [殻長, 22.0
 mm 殻幅, 27.2mm]
 3a. 3b. グルウドチヨウチンガイ *Terebratalia gouldii* (Dall, 1891) ; 城ヶ島沖産 [殻長26.4mm, 殻幅26.2mm]
 4. マルグチホウズキチヨウチン *Dallina raphaelis* (Dall, 1870) ; 葉山沖産 [殻長 42.1mm, 殻幅27.0mm]
 5. キイチヨウチン *Terebratulina kiiensis* Dall & Pilsbry, 1891 ; 葉山沖産 [殻長47.2mm, 殻幅43.9mm]

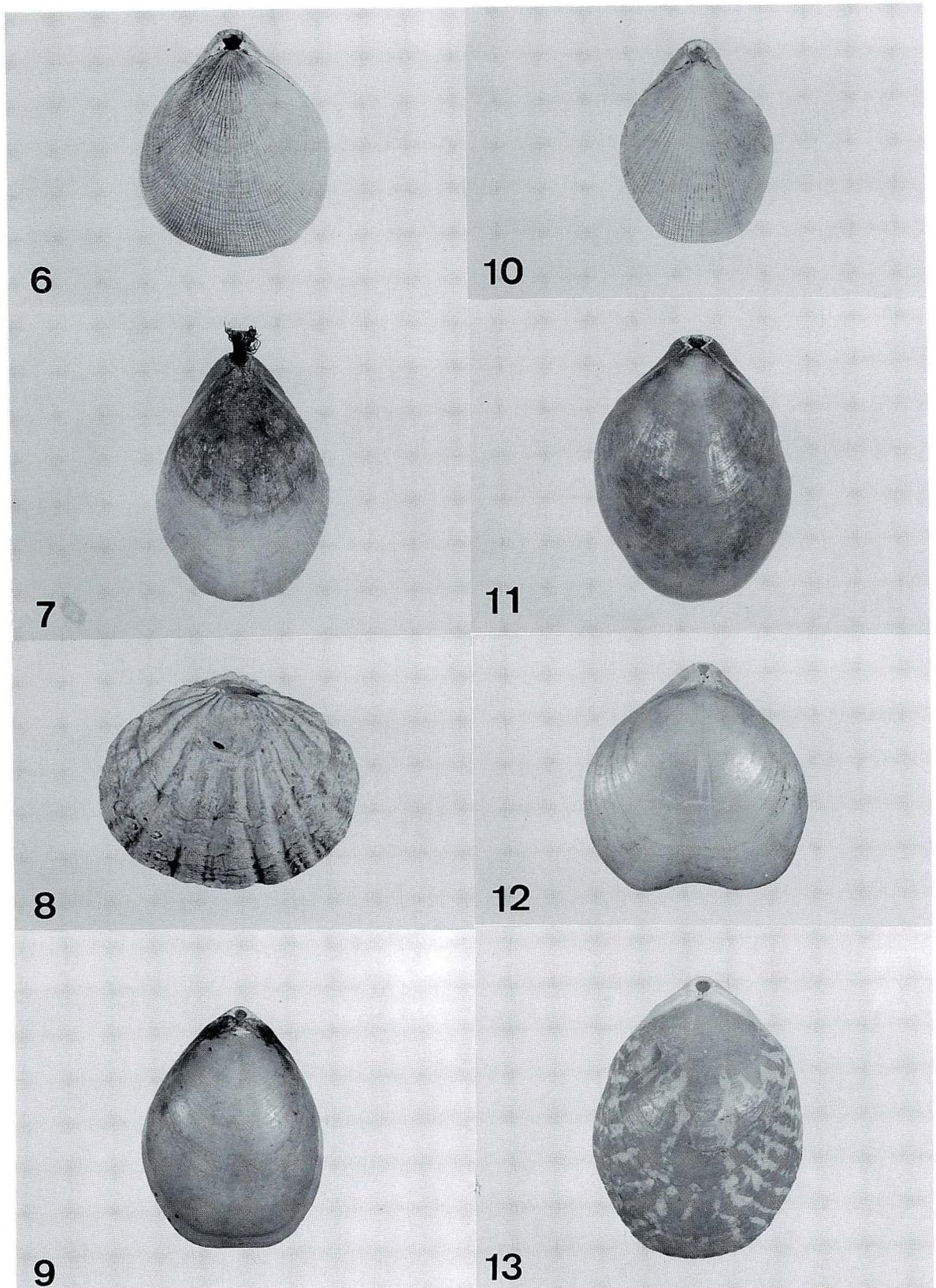


図3. 6. スルガチヨウチン *Terebratulina (Surugathris) surugaensis* Yabe & Hatai, 1934 ; 江ノ島沖産 [殻長26.5mm, 殻幅22.0mm]
 7. ハタイチヨウチン *Terebratulina hataiana* Cooper, 1973 ; 剣崎沖産 [殻長 32.0mm, 殻幅22.3mm]
 8. タテスジハウスキチヨウチンガイ *Coptothyris grayi* (Davidson, 1852) ; 葉山沖産 [殻長29.5mm, 殻幅25.1mm]
 9. ホウスキチヨウチン *Laqueus rubellus* (Sowerby, 1846) ; 長井沖産 [殻長 27.1mm, 殻幅20.4mm]
 10. タテスジチヨウチンガイ *Terebratulina japonica* (Sowerby, 1846) ; [殻長 23.1mm, 殻幅17.7mm]
 11. クロスチヨウチンガイ *Terebratulina crossei* Davidson, 1882 ; 葉山沖産 [殻長44.0mm, 殻幅33.0mm]
 12. ブラウンフォルドチヨウチンガイ *Laqueus blanforrdi* (Dunker, 1882) ; 葉山沖産 [殻長26.4mm, 殻幅26.2mm]
 13. コカメガイ *Pictothyris picta* (Dillwyn, 1817) ; 城ヶ島沖産 [殻長34.8 mm, 殻幅25.9mm]